

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成28年6月分)

平成28年7月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
  - (1) 国家レベル
  - (2) エンティティ、特別区
    - ・BH連邦
    - ・スルプスカ共和国(RS)
2. 外政
  - (1) 国際機関、フォーラム
  - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
  - (1) 経済指標
  - (2) 経済政策、公的事業
  - (3) 支援、援助

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ● BH裁判所上訴部が、フセイン・ボスニッチ被告に関する上告を棄却(6日)

BH裁判所上訴部に対しては、検察及び被告側のいずれも上告を行っていたが、両者は共に棄却され、第一審が維持された。

イスラム教サラフィストの聖職者だったボスニッチ被告は、BHにおいて、ISILの一員としてイラク及びシリアの戦闘に参加するよう勧誘を行ったことで、15年11月、BH裁判所によって、公共の場におけるテロ活動への教唆と、テロ活動及びテロ組織への勧誘の罪により、第一審有罪判決を受けた。

#### ● イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長がカザニ(Kazani)を訪問し、献花を行う(13日)

イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長(ボシュニャク)は、訪問の際に「カザニの様な出来事が起こったことは悲しい。このような出来事が再度起こらないよう、全ての手立てが取られるべき」と述べた。

サラエボ近郊のカザニでは、93年の紛争中にBH共和国軍によって、セルビア系住民を中心とした約30名が処刑された。

#### ● 公共放送システムに関する法律改正案がBH下院第一読会で可決(15日)

同改正案は、民主行動党(SDA)及びより良き将来のための連合(SBB)により提出され、電話会社に加えて電気会社が公共放送税を徴収することを可能にするほか、公共放送シ

ステム基金を設置することを規定する。

同改正案には、国政与党であるセルビア民主党(SDS)やクロアチア民主同盟BiH(HDZ・BiH)が反対する中、同野党となる独立社会民主主義者連合(SNSD)が賛成票を投じたことで、採択された。

同改正案は、修正期間を経て、第二読会にかけられる。

#### ●BH大統領評議会が安定化連合協定(SAA)の調整について議論見送り(27日)

BH大統領評議会は、BH閣僚評議会が採択した、SAAの調整案を含む調整交渉に関する報告書を受領したものの、大統領評議会内部において合意に至っていないとして、その協議を見送った。

SAA調整案について、RS政府は同案を認めない姿勢を示しており、イバニッチBH大統領評議会メンバーは、RS政府の見解に従うと述べている。

#### ●国勢調査結果の公表(30日)

BH統計庁は、13年に実施された国勢調査結果を公表した。

国勢調査結果の公表に対して、これを認めない立場にあるRS内のセルビア系政党からは、与野党に拘わらず強い反発があった。

## (2)エンティティ、特別区

### ・BH連邦

#### ●BH連邦警察がガリヤシェビッチ・ビハチ市長を逮捕(15日)

BH連邦警察のプレスリリースによると、ガリヤシェビッチ市長は、収賄の容疑で逮捕された。同市長に加えて、同市長夫人及び補佐官2名が同時に逮捕された。

### ・スルプスカ共和国(RS)

#### ●RS国民議会(RSNA)が国勢調査に関する特別会合を実施(21日)

RSNAは、同会合の決議において、13年に実施された国勢調査のデータ処理方法に関するユキッチBH統計庁長官による決定を受け入れないことを宣言し、RS内各機関に対して、新たな合意が得られるまで同国勢調査の結果を認知及び公表しないよう呼びかけた。

ドディックRS大統領は、同会合中、国勢調査に関する問題が解決しない限り、EU加盟プロセスにおけるSAAの調整及びEU加盟に関する調整メカニズムの問題も解決し得ないと述べた。

#### ●RSがSAAの調整案に反対を示す(26日)

ドディックRS大統領は、RSの代表者と農業従事者らを集めた会合において、EU側との交渉により妥結されたSAA調整案が、RS、特に農業分野において甚大な被害を与え得るとして、これに反対する意向を示した。

## 2. 外政

### (1)国際機関、フォーラム

#### ●16年中のBHによるWTO加盟の可能性が言及される(22日)

Osakwe・WTO加盟局長は、2日間のBH訪問の中で、現地「ドネブニ・アバズ」紙に対して、BHのWTO加盟が16年中に実現する可能性について触れ、BHのWTO加盟により、BHの市場経済へのコミットメント、政治の透明性及び法の支配の存在について国際社会へメッセージを発することが出来ると述べた。

## (2)要人往来、国際会議等

### ●中欧イニシアティブ外相会合の開催(於バニャ・ルカ)(16日)

中欧イニシアティブ外相会合は、ツルナダクBH外相がホストとなり、BH国内のバニャ・ルカで開催された。同会合には、9名の外相を含む18名の中欧イニシアティブ各国代表と、ハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員が出席した。会合では、EU加盟に向けた域内協力、移民危機、テロとの戦い、持続的開発における域内協力の強化、運輸及びエネルギー接続の向上について協議が行われた。

### ●ズビズディッチBH閣僚評議会議長のスロバキア訪問、フィツォ・スロバキア首相及びライチャーク外務・欧州問題相との会談(17日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長とフィツォ・スロバキア首相は、両国間の関係が良好であり、懸案事項がないことを確認した。フィツォ首相は、スロバキアがBHのEU加盟プロセスを引き続き支援する意向を表明した。

ズビズディッチBH閣僚評議会議長とライチャーク外務・欧州問題相は、スロバキアのEU理事会議長国としての優先事項や、それに関連して、BHがEU加盟プロセスを進展させるために果たすべき条件について協議を行った。

### ●駐BH米大使及びEU大使がBHのEU加盟プロセスの失速を警告する共同声明を发出(29日)

両大使は、BHによるEU加盟申請について好意的な反応を得るための機会が急速に狭まっており、改革の行き詰まりによって20億ユーロに相当する支援を失することになると共同声明中で警告した。

### ●BH大統領評議会のドイツ訪問、ガウク・ドイツ大統領及びメルケル・ドイツ首相との会談(30日)

ガウク・ドイツ大統領は、特にBHからドイツや他のEU諸国に若者が流出している問題や、より労働市場に焦点を当てた教育の必要性等、BHの現状について高い関心を表明した。両者は、BH及びドイツの二国間関係が良好であり、懸案事項が存在しないことを確認した。

BH大統領評議会とメルケル・ドイツ首相との会談では、BHにおける社会経済的状況について、特にBHのEU加盟プロセスを中心に協議された。メルケル首相は、ドイツがBHのEU加盟プロセスを財政及び他の形態で支援を継続する意思を伝えた。また、メルケル首相は、BH国内で重要な進展があったと述べつつ、BH政治家に対して、早急にSAA調整案の採択に合意するよう呼びかけた。この点につき、同首相はBH国内の農家の懸念について理解を示し、これを補うための財政的支援を行う意思があると述べた。

## 3. 経済

### (1)経済指標

#### ●GDP(予測)

世界銀行は、16年下半期の世界経済見通し(GEP)においてBHの16年経済成長率の予測を上半期予測から0.3%引き上げ、2.6%の成長とした。17年及び18年については、上半期予測から変わらず、それぞれ3.1%及び3.5%とした。

#### ●産業生産高

BH統計局の発表によると、16年5月の産業生産高は、16年4月と比較して0.8%の増

加。15年5月との比較では3.9%の増加。

#### ●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、16年4月のBH全体の雇用者数は724,208人。16年4月の失業者数は524,061人で失業率は41.9%(前月比0.6%増)となった。

#### ●平均給与

BH統計局の発表によると、16年4月のBHにおける平均給与は830KM(約424ユーロ)で、15年4月との比較で名目0.4%減となった。

#### ●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、16年5月は、16年4月と比較して、消費者物価指数は平均で1.6%の減少。年間比較では、平均1.5%減少した。

#### ●貿易額

BH統計局の発表によると、16年1月から5月のBHの輸出額は36億6,900万KM(約18億7,600万ユーロ、15年同時期と比較して1.6%増)、輸入額は62億3,900万KM(約31億9,000万ユーロ、15年同時期と比較して1.2%減)となった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から5月):①ドイツ(6億3,060万KM/約3億2,240万ユーロ)、②イタリア(4億6,960万KM/約2億4,000万ユーロ)、③クロアチア(3億8,430万KM/約1億9,650万ユーロ)、④オーストリア(2億9,780万KM/約1億5,230万ユーロ)、⑤セルビア(2億1,580万KM/約1億1,030万ユーロ) 参考:日本(44万3,000KM/約22万6,500ユーロ)

ロ)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から5月):①ドイツ(7億9,800万KM/約4億800万ユーロ)、②イタリア(7億4,790万KM/約3億8,240万ユーロ)、③セルビア(7億2,210万KM/約3億6,920万ユーロ)、④クロアチア(5億8,070万KM/約2億9,690万ユーロ)、⑤中国(4億3,100万KM/約2億2,040万ユーロ) 参考:日本(3,834万KM/約1,960万ユーロ)

\* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

#### ●観光客数

BH統計局の発表によると、16年4月、BHにはのべ94,388人(うち日本からは741人)の観光客が訪れ、前月比で34.4%増、前年比14.1%増となった。

#### ●公的負債

27日、BH議会に対して、15年のBHの負債は119億KM(約61億ユーロ)、そのうち対外債務は84億KM(約43億ユーロ)となったことが報告された。

## (2)経済政策、公的事業

#### ●BH連邦政府による連邦鉄道(ZFBH)の民営化計画(16日)

ZFBHの民営化計画は、19年第2四半期に行われることが計画されている。同計画は、BH当局とIMFの協定(IMF執行委員会による承認待ち)に基づくもので、同協定は、3年間で5億5,000万ユーロの経済プログラム支援を規定している。

ZFBHの負債は約7億KM(約3億5,800万ユーロ)に及ぶ。

● RS政府と中国「Machinery Engineering Corporation (CMEC)」社及び「China Poly Group」社がガツコ第二火力発電所の建設について覚書に署名(18日)

署名式はベオグラードで行われ、ジョキッチRS産業・エネルギー・鉱業相が署名を行ったほか、ドディックRS大統領も同署名式に出席した。同大統領は、本件が周中国国家主席のベオグラード訪問中に行われたことの重要性を強調した。CMEC社は、ガツコ第二火力発電所の建設を17年中旬に開始する予定であることを告げた。

● RS政府が、「Ljubija」鉄鉱山の私有化を撤回(20日)

RS政府は、「Ljubija」鉄鉱山の民営化についての議論を、RSNAの議題から撤回した。

RS政府は、同鉄鉱山の株式65%をイスラエル企業に売却することを想定していたが、RS内与党連立に参加する民主人民同盟(DNS)からの支持を得られなかった。

**(3) 支援、援助**

● BH閣僚評議会が欧州復興開発銀行(EBRD)との融資協定を採択(21日)

BH閣僚評議会は、BH連邦内の道路の洪水後の修復及び近代化を目的としたEBRDからの融資受入れ提案を採択した。融資額は6,500万ユーロで、返済期間は15年。

(了)